

〈21世紀の車社会を明るくするために〉

PROJECT O

現在、交通事故は大きな社会問題である。
その事故件数及び、負傷者・死者は、年々
増加にあり、とどまることをしらない。

なかでも、運転未熟、交通違反による事
故は、急激に増加している。

そこで我々は、交通事故を限りなく〇に
近づけるために、プロジェクト〇という、
交通安全計画を提案したい。

1. 無免許運転をなくすために。



有料駐車場の出口のように、検問ゲートをつくる。幹線道路から国道や高速に入る場所に検問ちゃんを設置し、バーコードのついた免許証を入れることによって、無免許運転や不信者ドライバーを、ビデオカメラで確認することが出来る。

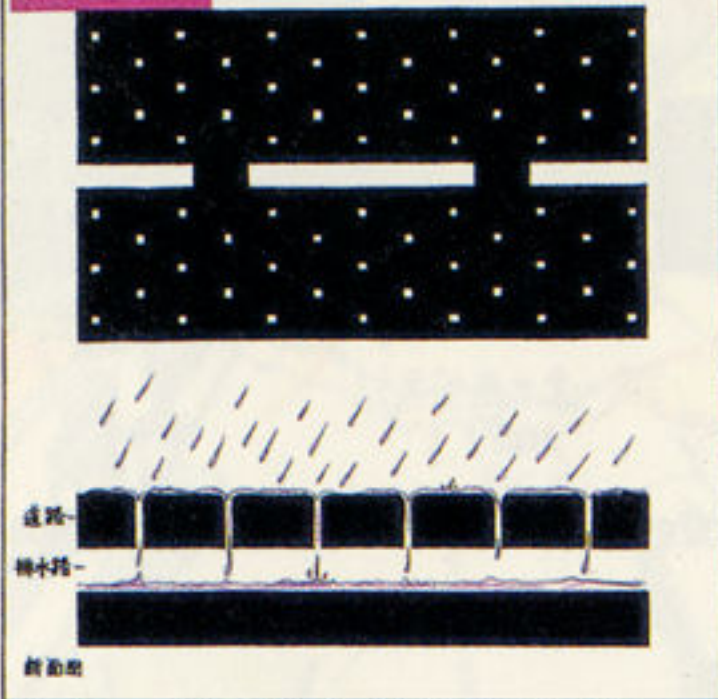
2. 初心者の事故をなくすために。



初心者優先道路をつくる。運転技術の未熟からくる事故を無くすために、初心者優先道路の標識または、道路ペイントの有るところでは、バス優先道路と同じ取換をする、落ち着いて、安全スピードで走れるスペースを確保する。

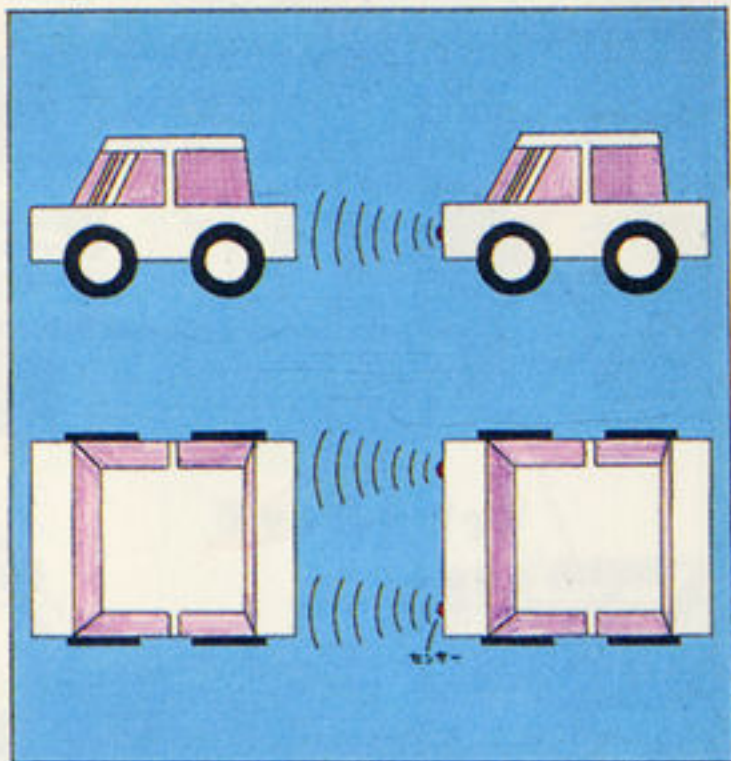
3. スリップ事故をなくすために。

ドライロード



道路に小さな無数の穴を開け、
雨天の場合は、穴を通過した水が排水路を
通って流れ出す。これにより、道路表面は
常にドライでスリップ事故を防ぐ。また、
雪、凍結などの場合は排水路に溜水を流す
ことにより、穴から伝わる熱で雪や氷を解か
すことが出来る。

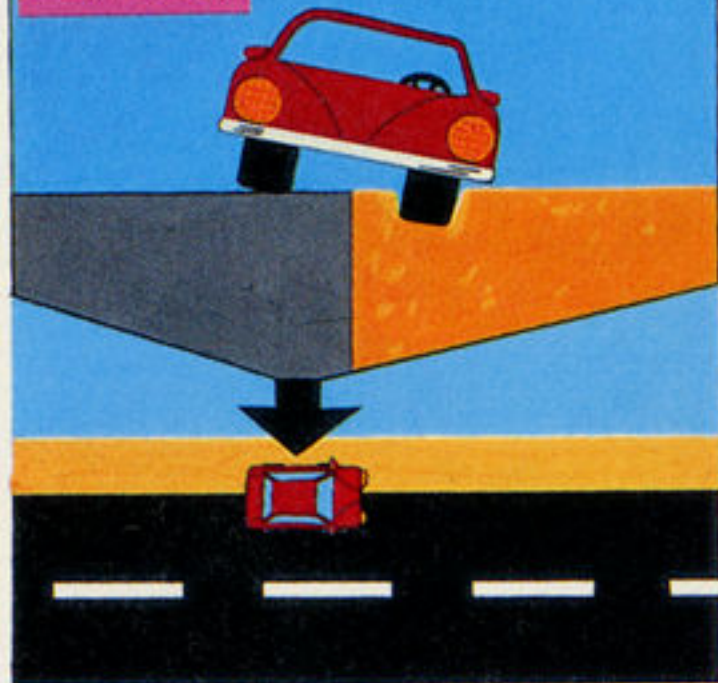
4. 追突事故をなくすために。



車の前後に追突防止センサーを取り付け車間距離がスピードと比例して設定される。
センサー前後の車をキャッチした場合は、運転者に警報ベルで知らせると同時に、速度も自動で減速される。

5. 違法駐車をなくすために。

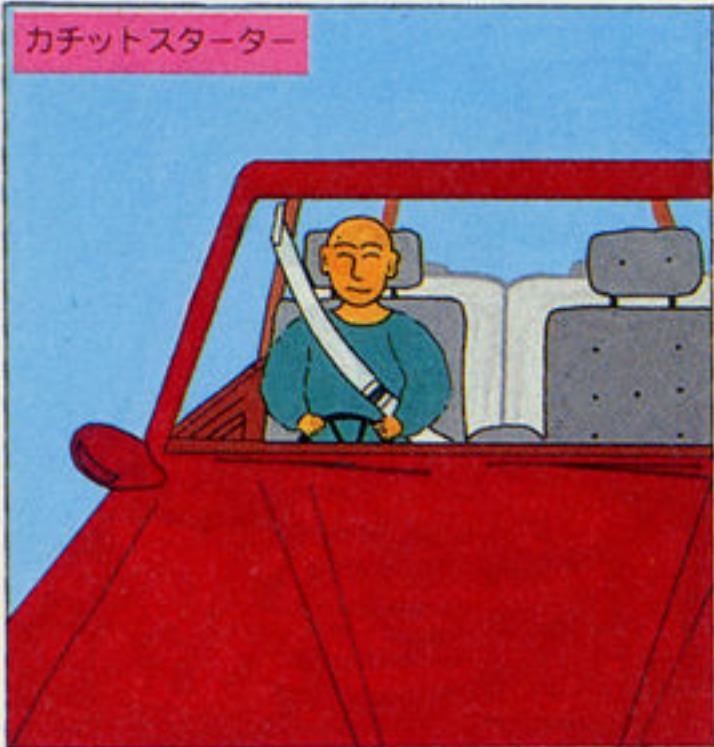
ミニバトいらす



路肩に新素材の合成ゴムゾーンをつくる。
この特殊合成ゴムは、瞬時の重さには反応しないが、時間の経過とともに車の重さによって変形していく性質を持っている。よって、停車から5分経過した車は、タイヤがゴムにめりこんでしまい脱出不可能となる。

シートベルトを必ず着用するために。

カチットスターター



シートは常に倒れているが、人がシートベルトを着用することによって、シートが起き上がりエンジンがかかる。それに、長時間運転の場合、目の覚めるつぼを背中から自動的に刺激してくれる。